

男女共同参画社会をめざす情報紙

さざなみ



No. 46

成田市
2018年2月発行



あらゆるひとを思いやるまち 成田をめざして



～「ゆるキャラグランプリ 2017」でうなりくんがグランプリに輝きました～
(11月19日・三重県桑名市ナガシマリリゾート)

★Contents (主な内容)★

- ☆ 第3回男女共同参画セミナー報告
- ☆ フォーラム・イン・ナリタ報告
- ☆ 平成29年度男女共同参画推進員活動の感想
- ☆ さざなみインフォメーション

◆男女共同参画社会基本法5本の柱

- ①男女の人権の尊重
- ②社会における制度又は慣行についての配慮
- ③政策等の立案及び決定への共同参画
- ④家庭生活における活動と他の活動の両立
- ⑤国際的協調

毎年度5回開催している男女共同参画講座。

今回、講座が始まって以来初めて「LGBT」についての講演会を開催いたしました。

平成28年度には男女共同参画推進員の有志で他市開催のLGBT講演会に参加するなど、どうすれば皆さまに分かりやすい講座をつくれるのか話し合いを重ねました。

第3回 成田市男女共同参画セミナー 9月30日 LGBTって何？ 多様な性について考えよう



「LGBTって何？多様な性について考えよう」と題して、室井先生自身の体験やエピソードを交えながら、当事者の立場からご講演下さいました。LGBTを含む多様な人たちにとって、制度やサービスの課題、考え方や価値観の課題など直面する課題は多岐にわたります。その中で、「私は『わたし』に生まれたから『わたし』として生きて行く、ただそれだけのこと」と。人の数ほど様々に存在する生き方や、性のあり方を広く受け止め、違いを越えて生きられる寛容な社会の実現を願われていました。講演を通し、LGBTって何？を知る良い機会となり、お互いの位置から互いに歩み寄ることの大切さを学びました。

♪参加者の声♪～アンケート結果より～

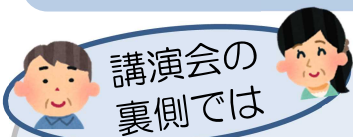
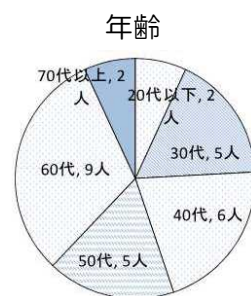
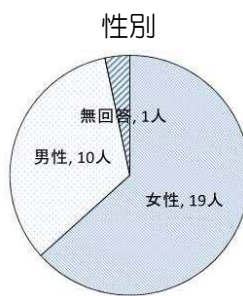


差別や偏見は、そのことを知らないから起こると考えています。私はかねてから小学校4年生の保健授業で多様な性について扱ってきました。また、様々なマイノリティについても考える機会を作るようにしています。今後もぜひ勉強させてください。

自分自身にカミングアウトできない苦しさ、自分の生命を大切にするためにも、中学生、高校生、教育関係者にもっと聞いて頂きたかったです。子どもの頃に心を傷めている人がいたらと思うと、とても苦しいです。



参加者数：49人 有効回答者数：30人



講演会の裏側では

パネル展準備

会場のロビーでは、LGBTに関するパネル展示を行いました。



講演会中

会場は満員で大盛況でした。今回の講演会では、より多くの方に聞いていただけるよう手話通訳が入りました。



受付・会場準備



資料はあらかじめ席に配布、機材のケーブルをテープで固定するなど、より良い講演会にするため、様々な工夫をしました。

オール1の落ちこぼれ、教師になる

出逢いの奇跡

講師 みやもと まさはる
宮本 延春さん



今回のフォーラム・イン・ナリタは、成績「オール1」の落ちこぼれから27歳で名古屋大学に合格し、大学院で物理学を学んだ宮本延春さんをお招きしました。現在は発達障害のある息子さんをケアしながら「主夫」をしている宮本さんの、生い立ちから現在に至るまでの生き方、様々な出逢いについてお話をうかがいました。

自分をあきらめる

いじめの体験は、どれほど深い傷を子どもに残すのでしょうか。

いじめを避けるため自分の存在を隠すように学校生活を送った結果、勉強に全くついていけなくなった宮本さんが、九九をすべて覚えることができたのはなんと23歳になってからでした。

一度つまずいた子どもは、失敗をするたびに自分はダメな人間だ、自分などどうでもいい人間だと自分をあきらめてしまいます。

先生から将来の希望を聞かれても、「なんでもいいです。」と答えるしかなくなってしまった宮本さんは、流されるままに中卒で工務店に就職しました。

新たな出逢い

安い労働力として、職場では粗末な扱いを受けました。経済的な困窮の中18歳で両親を亡くし、たった一人になってしまった宮本さんは、知人に誘われて新たな職場に移りました。

そこでの親方との出会いがなければ、今の自分はなかったと宮本さんは言います。

存在するだけで価値がある

新たな職場の親方は、宮本さんを気にかけ、大切にしてくれました。何かをしたから、何かを持っているから大切にされるのではなく、「ただ存在しているだけで大切にされてよい」のだと、初めて親方から示さ

れたのです。そして、宇宙や物理についてもっと勉強したいという意欲を抱いた宮本さんを、親方はじめ様々な人が応援してくれました。

23歳で小学校3年の教科書から学び始め、ついに大学院で物理学を修めた宮本さん。

いじめがどれほど重い障害になるかに驚くとともに、一旦落ちこぼれてしまっても、自分を信頼することができれば、決して人生をあきらめることはないのだと、勇気が湧くような気がします。

人は、幸せになるために生きている

母校の教師になった宮本さんが、結婚して授かった息子には発達障害がありました。24時間のケアが必要な息子の世話をどうするのか。話し合った結論は、宮本さんが職を離れ、子どものケアと家事を引き受けるということでした。

人は幸せになるために生きている。自分が幸せになるためには家族が幸せでなければなりません。性別で役割を決めるのではなく、それぞれの特性に合った生き方をすれば良いのではないかと、人が十人十色であるように、家族の形も十家族十色でよいのだと宮本さんの生きかたは教えてくれました。(原)

●今回のフォーラムでは、手話の他にプロジェクターを使って要約を掲示する「要約筆記」を行いました。講演の内容を素早く書き込んでゆくプロの技に驚きました！



♪参加者の声♪～アンケート結果より～

当たり前の反対がありがとうと言う事が改めて分かりました。当たり前に生活していますが「特別」「有り難い」ことだと心の中にいれて、これから過ごしていきたいと思いました。

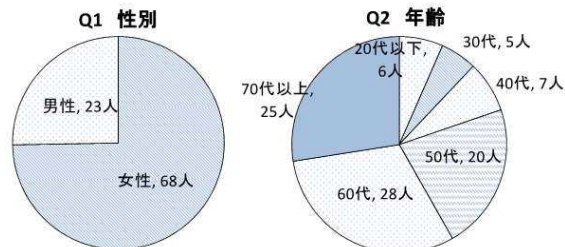


参加者数：126人 有効回答者数：91人

とても濃く、心の糧となるお話をしていただき、この時間に感謝の気持ちが湧いてきました。「ありがとう」感謝の思いがいかに大切で幸せなことであるか、とても大切な一日になりました。宮本さんに来ていただく企画、ありがとうございます。子どもの小・中学校でもぜひ講演していただきたいです。



要約筆記、手話通訳の取り入れは大変良かった！全てに手話がつくといいですね。また、幸せは大切な人と共にある。家族の幸せが自分の幸せ。お互い感謝あうこと！心に響きました。ありがとうございました。



～平成29年度男女共同参画推進員活動の感想～

今年度、活躍していただいた男女共同参画推進員のみなさんから、活動の感想を伺いました。

よくわからずに推進員になってしまいましたが、市の職員の方々のサポートや去年からの推進員の方々のノウハウにより、問題なく楽しく活動できました。自分が参加したいと思う内容で企画ができるのも楽しかったです。
(大野推進員)

推進員となり、講師の先生方・推進員さんや職員の方々と出会え、活動を経験出来た事は大変有意義な時間であり感謝しています。
(羽根田推進員)

初めて推進員として参加致しました。企画等難しいと感じたこともありましたが、講演の内容や、参加者の声、他の推進員の方々の様々な意見を聞いたり大変学びの多い一年でした。今後もより魅力のある講座が開かれる事で、市の「男女共同参画社会」が浸透する事を期待しています。
(平尾推進員)

男女共同参画とは、推進員になって認識しました。男女が共にいろいろな分野で活躍できる男女共同参画の一助になる活動を続けて参ります。
(富田推進員)

ついていだけで、精一杯の一年でした。こだわりを捨て、広く・深く物事を見つめ、考えるようにしたいと思っています。
(山口推進員)

初めて推進員として活動致しました。講演会の企画・運営には和やかな中にも真剣な取組みを学ばせて頂き感謝致します。男女共同参画の推進は一人ひとりが今までの概念にこだわらずに各々の特性や能力を活かせるよう協力し合うことが大事だと思います。これからもより楽しく、有意義な生活が送れるような社会を目指し推進員で学んだ事を伝えていきたいと思っています。
(藤崎推進員)

推進員になって2年。私にとっての男女共同参画は全くの未知の世界。正直、興味津々良い勉強をさせていただきました。ありがとうございます。
(大森推進員)

推進員の活動は今年で2年目。講座の企画・運営等男女共同参画の視点から様々な活動をしてきました。その多様な活動が「男女共同参画社会」の実現に繋がっていくのだと深く感じました。楽しく、あっという間に過ぎ充実した1年でした。
(佃推進員)

今年で2年目になりました。相変わらず賑やかで楽しい会議ですが、いろいろなことを知るにつれ身近な問題に気づかれます。「誰もが幸せに生きる」という、とても当たり前なことは誰かの不断努力によって支えられていることがわかりました。見えないところで頑張っている人々の存在に気づけたことが推進員に参加した大きな収穫だったと思います。
(原推進員)

推進員の会議の輪の中に自然に溶け込んでお話し下さる講師の方がいたり、お寄せいただいたアンケートの声を参考に、次の講演会のあり方を話し合ったり、様々な気づきがあり、充実した一年になりました。皆さんと和気あいあいと活動できましたこと、心から感謝申し上げます。
(佐藤推進員)



SAZANAMI INFORMATION

さざなみインフォメーション

募集

男女共同参画推進員

「男女共同参画社会」とは、職場・学校・地域・家庭といった様々な場で、性別に関わりなく、個性や能力を発揮できる社会にしていこうというものです。

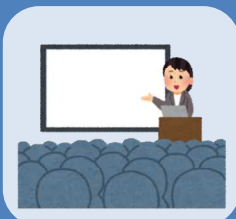
推進員の仕事内容

応募方法

講座の企画・運営

講座の開催

情報紙の作成



- ◆ 応募資格 ①市内在住の20～74歳の方(平成30年4月1日現在)
②講座の企画運営など年10回程度参加できる方
- ◆ 募集人員 10人(応募者多数は選考)
- ◆ 任期 4月1日～3月31日
- ◆ 応募締切 2月28日(水)必着
- ◆ 応募方法 ①作文「推進員として目指すこと」(100字以上)
②申込書(住所・氏名・性別・生年月日・電話番号・これまでの社会活動等があれば記入)

以上、2点を直接・郵送・Eメールのいずれかで市民協働課まで
(〒286-8585 成田市花崎町760 TEL: 0476-20-1507
Eメール kyodo@city.narita.chiba.jp)

※申込書は市ホームページにございます。(様式は問いません)

※さざなみは、市役所支所、公民館、図書館、保健福祉館、三里塚・公津の杜コミュニティセンター、男女共同参画センター、市ホームページ (<http://www.city.narita.chiba.jp>) にあります。

登録番号 成協 17-038